

令和4年度 第1回那覇市総合教育会議議事録

署名人 本仲 範男

市長 知念 寛

1 開催日時 令和5年（2023年）1月23日（月）10時00分～11時30分

2 開催場所 庁議室

3 出席者 知念 寛那覇市長
山城 良嗣教育長
教育委員：本仲 範男委員、仲本 千佳子委員
二木 志保委員、山城 達彦委員

4 協議事項

（1）那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱の改正について

5 報告事項

（1）学校における医療的ケアについて

6 出席職員

生涯学習部：小嶺部長 稲福副部長

（総務課）石川参事兼課長、稲森副参事、新里主査

学校教育部：名嘉原部長 仲宗根副部長

（学校教育課）松原課長、平良副参事、富川指導主事、山内主任主事

6 事務局職員

企画財務部（企画調整課）：山口副部長、上原参事兼課長、儀間副参事、宮平主査

7 傍聴人 なし

8 議事の経過 次のとおり

令和4年度 第1回総合教育会議

日時：令和5年1月23日

知念市長

おはようございます。ハイサイグスーよーちゅうがなびら。

本日は、令和4年度第1回目の那覇市総合教育会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今回の会議は、市長と教育委員会の協議及び調整の場という位置付けになっております。

ここで言う協議は、自由な意見を意見交換として幅広く行えるものでありますので、皆様と市の教育の方向性など、議論を交わしながら、本市の教育の向上に努めて参りたいと思いますので、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

それでは協議の前に、会議録署名者を指名いたします。本仲範男委員です。よろしくお願いいたします。

また、今回協議される報告事項1の学校における医療的ケアについては、情報から個人が特定される可能性がありますので、報告事項第1は非公開と決定してもよろしいでしょうか。

(構成員全員) 異議なし

知念市長

異論がないようですので非公開といたします。

それでは早速協議に移りたいと思います。

では一つ目の、那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱の改正について、協議を進めていきたいと思います。

初めに担当事業課より説明を行ってもらい、その後意見交換を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。まず企画調整課より説明していただきます。よろしくお願いいたします。

企画調整課

企画調整課より付議事項1の説明。

知念市長

はい、ありがとうございました。さて、ここまででご意見等がございますか。

ご意見がある方は挙手にてよろしくお願いいたします。はい、本仲委員どうぞ。

本仲委員

今回、この改正案を事前に読ませていただいて、感じたことが二つありますね。

まず一つはですね、改正案の前文の冒頭にまちづくりの原動力となるのは人でありという言葉がここ出ておりますけれども、まさに、那覇市が教育に対する力強いいわゆる人材育成ということですね。力強い姿勢が理解できていると思います。

二つ目はですね、今回新しい大綱に2番の人権教育及び平和教育の充実というところを加えたところはかなり賛同をします。

県内の市町村の教育委員会が集まっている、沖縄県の市町村教育委員会連合会というのがあります。その中で先日理事会があって、いわゆる平和教育についてちょっと話し合いがあってですね、今回5月に県連の総会がありますけれども、その総会の中で分科会の一つにぜひこの人権教育と平和教育というものを取り上げて欲しいということで、取り上げることにしているわけですね。

だからこの平和教育については、本県では非常に関心が高い課題でありますのでこれが今回挿入されたことに関してはですね、非常に賛同するものであります。以上です。

知念市長

はい、ありがとうございました。この前文と2ですね。人権教育、平和教育、この部分の追加が非常に賛同できるというご意見だったかと思います。

他にご意見ありますか
知念市長

どうぞ。

山城教育長

はい、今の本仲委員のご意見にも少し関連するのですが、前大綱を踏襲して新たな項目を追加してということで、非常にいい形になっているなという感想を持っています。

このまちづくりの原動力となるのは人でありというこのリード文ですが、これは那覇市が進めている協働によるまちづくりという意味から大変重要な考え方になるかと思います。

ただ、そのあとの文章が人材育成においては地域への愛着、それと社会性を身につけるための教育が必要です。というくり方になっているのですが、これだと教育の幅が非常に狭まってしまうかなあということがちょっと心配ですね。

もっと教育っていうのは、人材育成を行うのは当然なのですが子供自身の自己実現というところも含めて考えたときに、この文章はちょっと幅が狭くなりすぎてはいないかというのがちょっと気になるところです。

それと関連して下を見ると、人間性豊かでたくましい人材の育成。自立した人材の育成を図ります。という結び方になっているように、子供自身の将来に向けた内容がここには含まれてくると、リード文が狭くて実際内容の項目が少し広がっているのかなという印象を受けるものですから、もう少しこのリード文は工夫が、場合によっては必要かなというふうに思っています。

先ほど本仲委員からもあったように、まちづくりの原動力となるのは人でありというのは非常に、那覇市の姿勢として大切なものだと思いますので、あえて案を提案させていただくとすれば、よろしいですか。

この、まちづくりの原動力となるのは人であり、はそのまま生かしてですね。次の人材育成においてから人材として、地域の前のこの部分は一旦取ってしまっってこのように結んだらどうかと考えています。

まちづくりの原動力となるのは人であり、地域へ愛着と誇りを持ち、多様な人々と主体的、積極的に協働できる社会性を身につけた人材の育成は重要です。前文をここに生かす形で、前文と先ほど取ったものをここに生かす形で、あえてここで教育というものを狭くくくらずに置いてはどうかという感じがしますが、一つ意見として聞いていただけたらと思います。以上です。

知念市長

はい、今の部分ですけれどこれ深掘りして議論する必要があるところだと思います。

少し目指すものが小さいじゃないか。あとは地域だけに限らずに、極端な話ですけども世界を作るような人間世界を救うような人が、那覇市から生まれてくるっていうのも教育の夢のある話だと思います。

確かにあの地域限定的なところも少し強調されすぎているか、というような視点もあると思いますので。そのあたり各委員の皆さんよりご意見を伺いたと思いますけどそれぞれ何かご意見があればお考えを聞かせていただければ助かります。仲本委員どうぞ。

仲本委員

今、山城教育長のご指摘があつて少し考えたのですが、色々なお子さんがいて、社会性を身につけるといふ、この部分には色々な形の社会性があるわけですよ。

私たちが今、この言葉からイメージできるような形の協働ができる社会性を身につける子が、大多数であれば本当に、社会はすごくスムーズに回れると思うのですが、やはり少し他者と繋がりがづらいようなお子さんたちっていうのも、今クローズアップされてきているところで、何て言うのかな、地域づくりができる、社会性のある方たちを増やしていくっていうのは、とても市にとって大事なことですけれど、やっぱり最終的に市が目指しているものは、みんなが笑顔になるまちっていうことですよね。だからやっぱりこの一人一人の、市民、特に子供たちは幸福感を持つような、最近の流行りの言葉で言えば、ウェルビーイングですけど、幸福に向かえるような、そういう教育、まちづくりっていうところのニュアンスがもう少し入るといいかなあとは、今、山城教育長の話を聞きながらちょっと感じました。感想です。

知念市長

はい、ありがとうございます。他に何か今の部分で、これは少し参考にしてもらいたいのですけど、仲本委員のお話の中に、我々の今地域づくりっていうのを市長部局でやっております。その中でどうしても広がりがないという中で、我々がこの多様性に対応できていないのではなかろうかと。自分たち自身に疑問を今投げかけております。

例えば先ほど仰った社会的にやはり交わりたくないという人、これも多様性の一環だと思います。それを寛容の心でもって受入れる仕組みづくり。これが行政には求められているのではなかろうかと。いわゆる今、学校単位で地域づくりしていますけども、37番目の世界があってもいいんじゃないか、いわゆるメタの世界ですね。こういう世界で繋がるっていう仕組みもあり得るのではなかろうかと。ですから今までのものにこだわらずに、もっと広くグローバルに考えていけるような、そこに多様性がある。那覇市がLGBTを宣言した意味というのも、そこであります。さらにその次の先進的な都市になるにはですね。そのあたりまで踏み込んで、いこうじゃないかということで今我々のところで議論しています。その辺りも少し参考にしつつ、今の議論の中身をですね深掘りしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

山城委員、何かございましたね、はいどうぞ。

山城委員

先ほど市長がおっしゃった世界というキーワード非常にいいなと思います。山城教育長からありましたように、地域とか幅を狭めてないかというお話がありました。そのあとに市長より世界と言うキーワード、或いはグローバルというキーワードが出てきました。その辺を織り込んでいったらどうかと思います。

知念市長

はい、ありがとうございました。

二木委員も何かございますか、どうぞ。

二木委員

那覇市の教育なので、那覇市の人材というものが非常に大事だし、那覇市の地域を活性化するためのっていうキーワードも非常に大事だと思うのですが、例えば教育の場において、教育委員会でも私は個人的には那覇市出身でもないけれども、那覇市にきているという立場で思うと、いつも那覇市っていうところにあまりこだわりすぎるのも、ちょっと違和感をいつも感じているところで、正直言って。なので、やはりグローバルという言葉で、まとめてしまっているのかどうかちょっとわからないのですが、少し世界的な視野というか、色々なところに興味を持っていく人材とか、出ていく人材。それから先ほどから出ているような、多様性の中にはいろいろ出にくい人たちもいるので、そういう方々についても人権教育の中に入っているのかもしれないのですが、教育がちゃんと目配りしていくという、そういうことが必要だなと思っていました。

知念市長

はい、ありがとうございます。ただいまの意見を踏まえたらこの前文の部分、もう少し広く理解できるような、発信できるような文言を加えたらどうかという意見が大多数だと承りましたけども、方向性としてはそれでよろしいでしょうか。はい。

ただ文言につきましては、今ここで詳細まで詰めることは時間の関係上厳しいかと思うので、一旦、私に預けていただいてですね、また修正したものを各委員の皆様にご提示しながら了解を経っていくというような、今後の段取りで進めたいと思っておりますのでよろしいですか。

(構成員全員) 異議なし

知念市長

はい、ありがとうございます。もう少しグローバルって視野を広げたような、一番いい言葉をちょっとみんなで工夫して見つけてですね、事務方の方に少し汗かいていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。では前文以外の文言につきましてまた何かありましたら。はいどうぞ、仲本委員。

仲本委員

はい、前文以外の部分も、それぞれ那覇市の教育と文化に対する態度がすごく表されてい

る文かと思って、すてきな文です。

そうですね例えば、項目1、2、3は人材育成の前に人間性豊かなって那覇市の思いが見えるわけですよ。項目2は教育の中でも人権と平和を特に強調しますっていう意気込みが感じられるものですね。

第3項目のまちづくりっていうところもやっぱり、那覇市が本当に一番、重要視していると思うのですが、市民と一緒に作っていく協働のっていうところがありますが、そのあとですねやっぱり4、5、6っていうのは、項目の題目として中をしっかり読めば、何を目標しているのかっていうのは分かるものですが、この項目の題目として少し訴える力、言葉の力が少し弱いと印象を受けます。

特に項目4などは、すごく私としてはとてもいい政策だと思っていて、小学校区ごとの地域づくり、子育てのまちづくりっていうのはやはり顔が見える関係性の中で、それぞれの地域の子育て、子供自身の育ちを支えていこうという形や考えだと思うので、そういうところを少し、中身をよく読まなくても、そういうことを那覇市が目指していることをしっかり打ち出すような文言にするとどうかと思いました。

知念市長

はい、ありがとうございます。仰っているのは、例えば4、5、6のこのタイトルの部分ですね。これにもう少しインパクトがあって、すぐわかるような感じのものがないかどうかということですね。はい、これも少しあれですね、仰っているのもよくわかりますので、他との関係も含めながらですね、事務局の方で預からせていただきたい。その方がよろしいかと思います。いわゆる1から3までを目指す人材、4から6までは手法の問題ですね。この部分が一目でわかるようなイメージみたいなですね。しっかり出来上がる様なものがないかどうか、少し検討させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。はい、どうぞ。

企画調整課

今回、六つの項目がありますけれども、1番と3番に関しましては、1番に関しては人間性豊かでたくましい人材の育成ということで、これは人間性豊かとか、たくましいという項目などは、新学習指導要領の中でよく出てくる言葉で使わせていただいています。

そして、3番の協働によるまちづくりと言うのは、那覇市の市政運営でよく使われるフレーズとして使わせていただいております。

ただ、他の項目に関しましては、なかなかそのようなフレーズがないという中で、内容からですね、このタイトルを作り上げたというところがございますので、その辺はちょっと理解していただきたいと思っております。

知念市長

はい、ある程度今の事務局の説明も理解できると思います。分かりやすいのは、分かりやすいですよ。ただ、もっと味があればなというようなところも若干感じられますしね。このあたり、とりあえずは検討してみるということでよろしくお願いします。他にございますか。はい、どうぞ。

山城教育長

はい1点だけですね。今4番が話題に上がりましたので、この4番についてなんですけれども、この説明文4ページを見ると説明の中にカッコ書きで学校をコミュニティーの拠点として位置付け学校のオープン化に努めます。の部分から引用と書いていますが、実際本文は小学校と限定されています。今現在、小学校区で動くことが非常に多いので、確かに現実は今現在これに当たるかなと思いつつ、実は、この後那覇市でコミュニティスクールを導入していこうという考えが、教育委員会として持っているのですが、那覇市でコミュニティスクールを導入しようと考えたときに、小中一貫の仕組みが那覇市にはあるので、方向性として中学校区のコミュニティスクールというのも今視野に入れていきます。ですからその辺考えたときに、やはり小学校と限定してしまうのではなくて、あくまでも小学校も中学校も含めた学校という形の方が、より幅が広がってこないかなというのを感じているところです。

ただ現実的には、現在小学校単位っていうのがやっぱりフットワークも良くていいかなと思いつつ、先を見据えたときに、ちょっと中学校の幅が入っていた方が、いいのではないかなという気がいたします。以上です。

知念市長

はい、本仲委員。

本仲委員

関連することですけれども、4項目の子供の育ちや子育て支援などの推進の中の、小学校のプラットフォームという言葉がありますよね。これについてこのプラットフォーム化っていうのは、以前から使われている言葉ではないので、例えば県民すべてがこう理解できるのかなという事をちょっと、これ前の大綱にも載っていますが、あのときも少し思ったのですけれども、基本的にはこれでいいと思うのですがちょっと気になっています。

知念市長

はい、ありがとうございます。この2点について、少し事務局の現段階での見解を少し聞かせていただきたいと思います。

企画調整課

はい。実は、前大綱から小学校のプラットフォーム化となっているのですが、私たち事務局としても、これは学校のプラットフォーム化ではないかということで、総合計画でもそういうふううたわれておりますので、どうしてかと考えておりました。

それは、多分地域連携施設が小学校にあって中学校は確か2校ぐらいしかない、と伺っておりますので、そのような環境があって小学校のプラットフォームとの表現になっているものと考えております。

確かにコミュニティスクールとか今後はございますので、これを学校に変えるというのは、よろしい方向じゃないかというふうに考えております。プラットフォーム化というのはこれは総合計画でもありますけれども、コミュニティーの拠点という意味合いで使っているということになりますので、例えばこれは小学校のまちづくり協議会でも使われたりもしますし、後は放課後児童クラブで使われたりします。そういった地域の方々の開かれた場所として利用してもらうということで、記載をしております。

知念市長

はい。今のちょっと事務局の見解も含めてまとめたいのですけれども、これ別に小学校という明記する必要もなく、学校ということで次にらんだようなことでも別段問題はないという見解ですので、学校と修正してよろしいでしょうか。それとプラットフォームの名称なのですけども、最初私も確かに出てきた時はですね、なかなか馴染みがなくイメージがなかったのですけども、結構ですね今議論されていく中で、この言葉がもう通常用語みたいになってきておましてね。当面、これをつづけてみていわゆる拠点という以外のものも含めた発展性もあるのではなからうかと思って、私自身はそう理解しておましてですね。その言葉の中身を作り上げていくイメージでは、もうしばらく我慢してもいいのかと思っています。ここでこの大綱までは、頑張って使い続けてもいいのかと思いますので、その説明をしっかりしていくという形で努力したいと思います。よろしくお願いします。

そのほかに各論部分ですね何かご意見ございましたら。では、よろしいでしょうか。

この部分につきましては。どうぞ事務局。

企画調整課

前文の方ですけれども、中々再度集まって会議をする時間がないので、先ほど山城教育長がおっしゃったまちづくりを担う人材というところは削除しまして、地域へ愛着と誇りを持ち、多様な人々と主体的積極的に協働できる、社会性を身につけた人材の育成が重要です。ということがございましたので、これを基本に考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

知念市長

はい。今日の中で、少し大きなイメージを持つ言葉を入れたらいいのかなと思います。地域限定というのが確かに強いなという感じを受けます。教育はもっと大きな幅で、私の一言で言えば世界を救う人間を那覇市から出そうというのがね、それぐらいの心意気でやった方がいいのかなとも思ったりしますので、もう少し考えていただいて、色々個別にやりとりさせてもらって了解いただければなと思いますので、よろしくお願いします。はい。

では大綱につきましてはこの程度でとどめたいと思いますけどよろしいでしょうか。

(構成員全員) 異議なし

知念市長

はい、ありがとうございます。

協議事項 1 終了。